

トヨタ純正 レインクリアリングブルーミラー

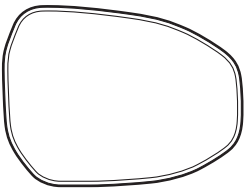
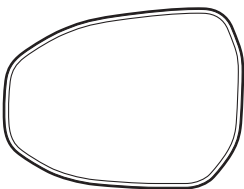
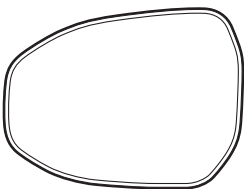
取付要領書

このたびはトヨタ純正レインクリアリングブルーミラーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はレインクリアリングブルーミラーの取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品 番

レインクリアリングブルーミラー	(ヒーター付き)	08169-16040
	(ヒーター + BSM 付き)	08169-16050
	(ヒーター + スプリング 付き)	08169-52230
	(ヒーター + BSM 付き + スプリング 付き)	08169-52220

構成部品

①		No.	品 名	仕 様	品 番	個数
		①	レインクリアリング ブルーミラー RH	(ヒーター付き)	08169-16041	1
②		②	レインクリアリング ブルーミラー LH	(ヒーター + BSM 付き)	08169-16051	1
				(ヒーター + スプリング 付き)	08169-52231	1
				(ヒーター + BSM 付き + スプリング 付き)	08169-52221	1
				(ヒーター + BSM 付き)	08169-16042	1
②		②	レインクリアリング ブルーミラー LH	(ヒーター + BSM 付き)	08169-16052	1
				(ヒーター + スプリング 付き)	08169-52232	1
				(ヒーター + BSM 付き + スプリング 付き)	08169-52222	1

取り付けに必要な工具等

リムーバー、保護テープ、保護具（軍手）、きれいな布（布手袋）、ドライヤー、スケール

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

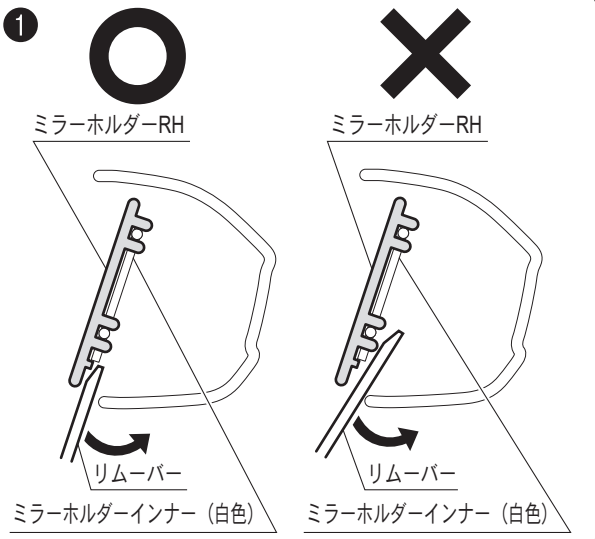
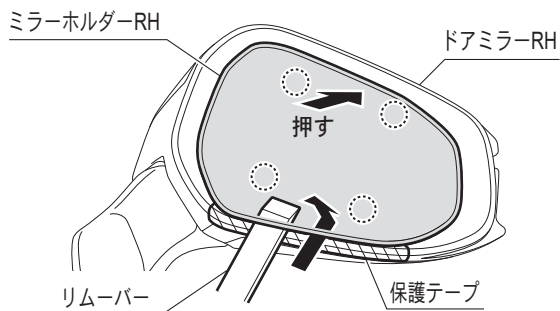
△ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています

👉 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

取付要領

※ ヒーター付き、ヒーター + BSM 付きドアミラー装着車は、バッテリーのマイナス (－) 端子をはずしてください。



○印：ツメ位置

BFEM102H

本書では、RH 側ドアミラーの説明をしています。LH 側も、同様の作業を行ってください。

ミラーホルダーの取りはずし

1. ドアミラー RH の図示位置に、保護テープを貼り付ける。
2. 鏡面上部を前方に押して、鏡面部を上向きに傾ける。
3. ①に従い、リムーバーをミラーホルダー RH 裏面のミラーホルダーインナー手前まで挿し込む。

アドバイス

ミラーホルダーインナー裏までリムーバーを挿し込むと、ミラーホルダーがはずれない構造になっています。①に従い、作業を行ってください。

4. リムーバーでミラーホルダー RH 下部のツメ (2箇所) の嵌合をはずす。

注意

嵌合をはずさずに無理にミラーホルダーを引くと、アクチュエーター機構部がはずれたり、鏡面部が割れる場合がありますので充分注意してください。

5. ミラーホルダー RH 上部のツメ (2箇所) の嵌合をはずし、ミラーホルダー RH を取りはずす。

<ヒーター付き、ヒーター + BSM付きの場合>

6. ②に従い、ミラーホルダー RH 裏面の乳白色 2P コネクター (ヒーター用端子) を垂直に取りはずす。

注意

端子の金属エッジ部で指を切る恐れがありますので、必ず保護具 (軍手等) を着用してください。

注意

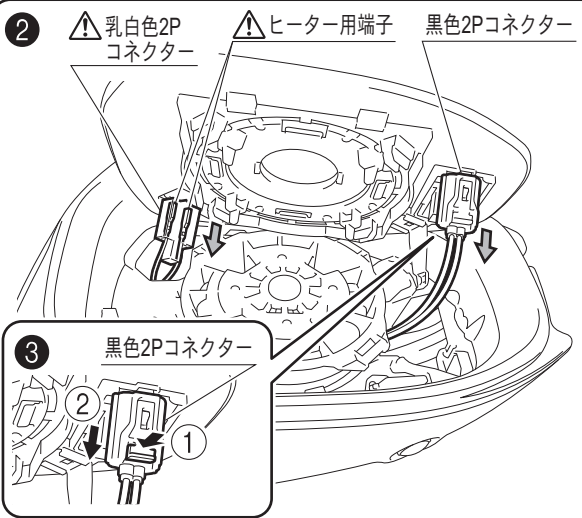
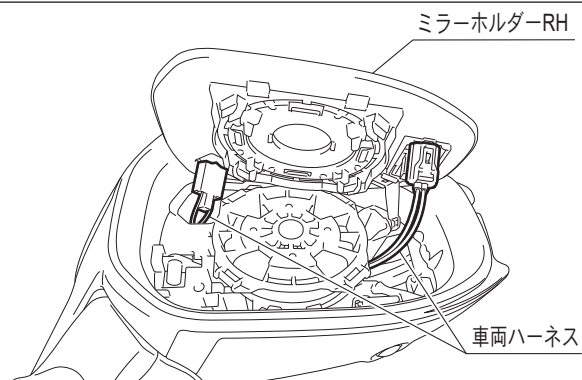
乳白色 2P コネクター (ヒーター用端子) を無理に引き抜くと、端子やヒーター回路を破損する恐れがあります。必ず、垂直方向に取りはずしてください。

アドバイス

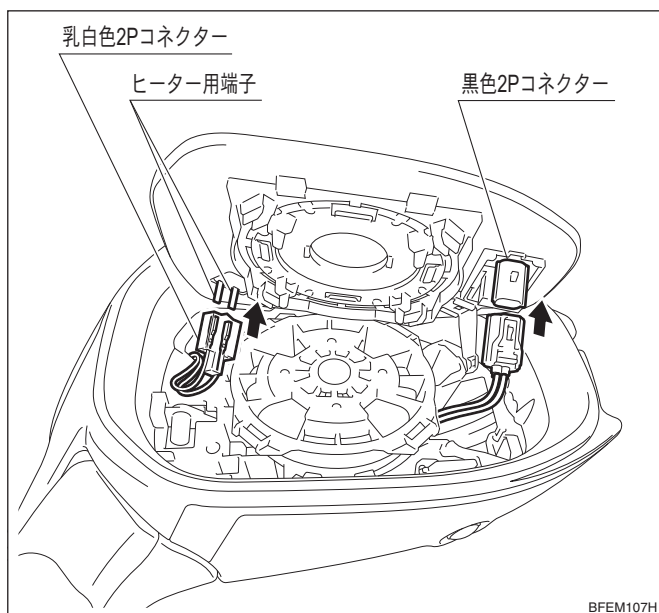
車両の仕様により、車両ハーネスの個数が異なります。

7. ③に従い、黒色 2P コネクターの嵌合を以下の順にはずす。

① (ロック部を押す) → ② (スライドさせる)



BFEM103H



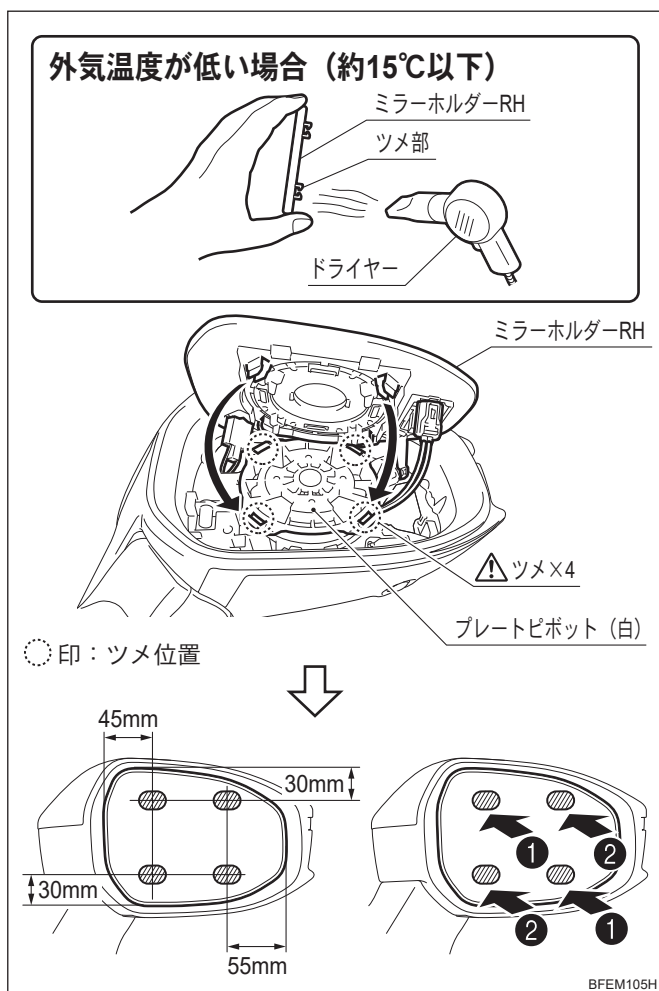
レインクリアリングブルーミラーの取り付け

<ヒーター付き、ヒーター + BSM付きの場合>

1. 黒色 2P コネクタを接続する。
2. 乳白色 2P コネクタ (ヒーター用端子) を接続する。

アドバイス

- ①：ヒーター用端子は、左右どちらの向きに接続しても作動に支障ありません。
- ②：車両の仕様により、車両ハーネスの個数が異なります。



<共通>

アドバイス

外気温が低い場合 (約 15℃以下)、ツメ部が硬くなり嵌合できなくなることがあります。その場合は、以下の手順に従い作業を行ってください。

- ①：ミラーホルダーのツメ部 (4箇所) をドライヤーで温めてください。(40℃以下程度としてください。高温にさらすと、樹脂が変形します。)
- ②：ミラーホルダーのツメ部が冷めないうちに取り付けてください。

1. ミラーホルダー RH 裏面の上部ツメ (2箇所) をプレートピボット (白) の嵌合部に合わせた後、下部ツメ (2箇所) を合わせる。
2. ツメ (4箇所) に相当する位置 (図中斜線部) を①・②の順 (対角線) に“パチン”と音がするまで押し、確実に嵌合させる。

注意

- ①：ミラーホルダー下部のツメ位置 (図中斜線部) から離れた部分を押し、鏡面部が割れる場合がありますので、充分注意してください。
- ②：ミラーホルダー脱落防止の為、ミラーホルダーのツメ (4箇所) が確実に嵌合されていることを再度確認してください。

アドバイス

鏡面部に指紋や汚れを付けないよう、布手袋をするか、きれいな布を当てて鏡面部を押してください。

3. 保護テープを剥がす。

作動確認

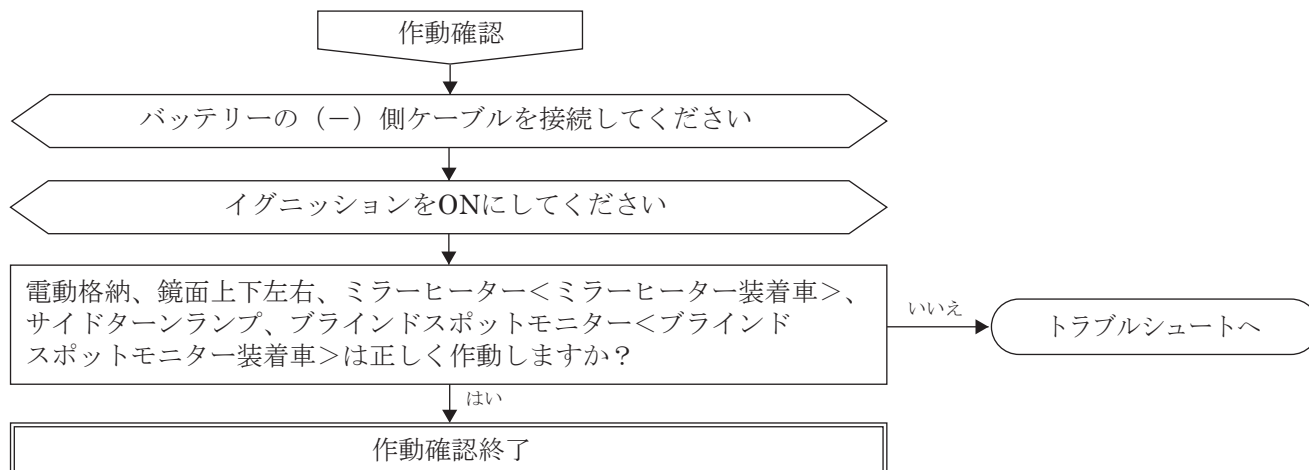
1. 取り付けの確認

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

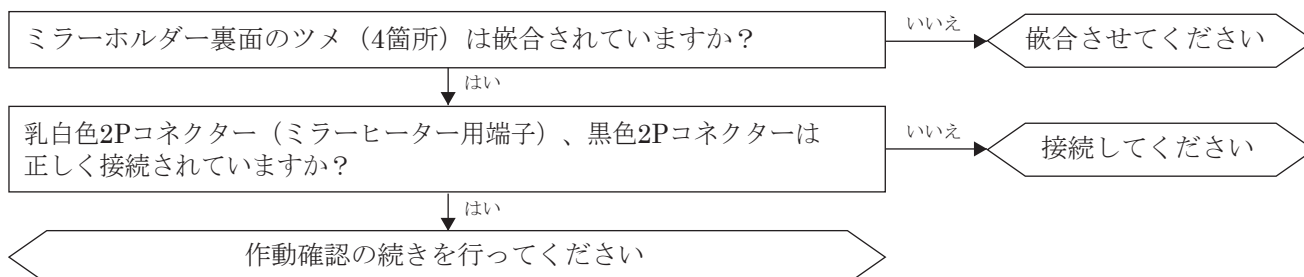
2. 作動確認

以下の手順に従い、作動確認を行ってください。

また、作動不良が発生した場合は、トラブルシュートに移り点検を実施してください。



トラブルシュート



復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

注意

復元作業は、車両ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※車両システムの初期化には、GTS 等のツールが必要な場合があります。

最終確認

ハーネス類の噛み込み及び、車両部品の取り付けミスがないかも一度確認してください。